

子育てガイドブックを リニューアルしました

妊娠から出産、育児までの各種手続きやサービス、施設の案内などを掲載している「子育てガイドブック」をリニューアルしました。

新しいガイドブックでは、親子で楽しめるイベントや困ったときに相談できる窓口の情報を充実させるとともに、子育て情報が入手できる情報ツールの紹介など、子育てに役立つ情報を掲載しています。

配布場所

区役所1階区民生活課・6階子ども子育て支援課、中央区保健所健康推進課、各特別出張所、各保健センターの他、HPでもご覧いただけます。

子ども子育て支援課
子ども子育て支援係
☎(3546)5444



詳しくは
区HPへ

4月6日(月)~15日(水)は 春の全国交通安全運動

「世界一の交通安全都市TOKYOを目指して」をスローガンに春の全国交通安全運動が実施されます。

歩行者・運転者がお互いに交通ルールの遵守を徹底

道路を横断する際は横断歩道を渡ること、信号機のあるところではその信号に従うこと、飲酒やながら運転をしないことなど交通ルールを守りましょう。

自転車・電動キックボード利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守を徹底

自転車利用者は自転車用ヘルメットを着用し、自転車安全利用五則を遵守しましょう。電動キックボードの利用時も、交通ルールを守って安全に利用しましょう。

令和7年交通事故発生状況

発生状況は、別表のとおりです。

前年と比較すると、区内の事故件数と負傷者数は増加しました。ちょっとした気の緩みや油断が重大事故につながります。自動車運転者だけでなく、歩行者や自転車利用者なども交通ルールをしっかり守り、日頃から交通安全を心がけましょう。

中央区交通安全日

毎月10日(10日が土・日曜日の場合は直前の金曜日)を「中央区交通安全日」と定め、関係機関・団体などが連携し、交通安全活動の推進および交通事故の抑止を図っています。

問交通課交通対策係

☎(6278)8171



詳しくは区HPへ

別表

区分	年	中央区	都内
事故件数(件)	令和7年	729	30,176
	令和6年	697	30,103
	増減数	32	73
死者数(人)	令和7年	3	134
	令和6年	2	146
	増減数	1	-12
負傷者数(人)	令和7年	821	33,401
	令和6年	782	33,251
	増減数	39	150



中央区民文化財として新たに1件を指定しました

郷土の文化財として保護する必要があると認められたものを「中央区民文化財」として登録し、区民文化財の中から特に重要なものを「中央区指定文化財」として指定しています。

令和8年度は4月1日付で1件を指定し、「中央区民文化財」は、指定8件、登録107件になりました。

八丁堀三丁目(第2次)遺跡内朗偲寺跡出土
こけら経
(指定番号8号)

指定種別

中央区指定有形文化財

所在地

新富一丁目13番14号
中央区立郷土資料館

所有者

中央区

概要

本資料は、平成13年(2001年)に八丁堀3丁目目で発掘された「こけら経」で、天正18年(1590

年)から文禄2年(1593年)の間に、この地で創建された日蓮宗の興隆山朗偲寺の池の跡から出土したものです。

こけら経とは、匏で細長く薄く削りだした木片に経文を写したもので、平安時代から江戸時代頃まで作られていました。

紙が貴重だった時代においては、安価なこけら経を供養の際などに用いることで、より軽易に、数多く短時間のうちに写経が達成できるため、庶民の間に広がりました。頭部を山型に加工することにより、写経だけでなく造塔の功德も同時に得られるようになっています。

本資料では、万人の救済と成仏を説いた法華経が書写されており、20枚前後を1束にしたものを200束程度重ねて巻かれた状態で見つかりました。1枚の形態は、それぞれ長さ46cm前後、幅4cm前後、厚さ0.05cm程で、巻かれた状態では長さ約65cm、最大幅約63cm、最小幅約23cmでした。

これらの中には、「日清十三年忌菩提也」(につせいじゅうさんねんきぼだいなり)などと記された

ものがあり、「日清」はこの寺を開山した「日攄」とみられます。日攄の没年は慶長3年(1598年)、13年忌が慶長15年(1610年)に当たり、この追善供養のために写経されたものと考えられます。

江戸期の初め頃の寺が発掘調査された例は極めて少なく、本資料は書写された年や目的が明確であることや、巻かれた状態で出土したことなど、近世の遺跡では他に例をみない貴重なものです。

問本の森ちゅうおう(郷土資料館)

☎(3551)2167



こけら経の出土状況(巻かれた状態)



取り上げて洗浄した直後のこけら経のかたち

出土したこけら経の一部

